

【青少年育成委員会の活動】

青少年育成地区委員会委員全体研修会

令和8年2月26日(木) ココネリ研修室1

「地区委員会の『広報』の役割を見直す」

～魅力的な広報誌政策と広報誌に留まらない広報活動～

講師 吉田憲司氏

「広報誌の役割の見直しと広報活動を広く知ってもらうため」と題して講演されました。「今の広報誌が目的にあっているか」とか、「制作が義務的になっていないか」「内容がマンネリ化していないか」など考えさせられる課題が目白押しでした。中でも制作体制の維持については、現在の「すこやか制作の広報部」でも切実な問題で、新しい担い手が現れるのを待ち望んでいるのが現状です。

そこで！

「すこやかを制作したい」という意欲のある方を募集しています。一度やってみたかった！ そんな方がいたらぜひチャレンジしてみませんか？

詳しくは青少年育成大泉北地区委員会事務局

電話03-3922-0183まで

第36回教育懇談会

参加者 26名

「孤育てを支える地域の力」

講師：小児科医・子どもの心相談医 吉野うもな

吉野うもなさんよりデータからみる現代の子育ての話があり、「つながる人」と「つながれない人」の違いや地域活動で大事にしている「安心安全な場」作り等のテーマで講演をいただきました。

親にとって「子育て」が大変なのかと思いきや、今は「孤育て」が顕著になっているとのことで驚きました。

孤立の子育てにならない為に、学校や地域でも自分からつながりを持つようにしないといけないと思いました。特に男性は女性よりコミュニケーションを取る事が難しいそうで、より一層の努力が必要なようです。

未来を担う大事な子ども達を育てている親が勇気を持って一歩踏み出し、地域の人のおせっかい等も受け入れて、より良い「子育て」ができることを願います。

施設見学会

令和8年2月27日(金)

練馬区立石神井公園「ふるさと文化館」

今年度最後の委員研修として石神井公園「ふるさと文化館」行きました。

まず館内を抜けて裏の練馬区中村から移築された、明治20年代初めに建築された藁ぶき屋根の「旧内田家住宅」を見学。立派な大木の冬木立を抜けて本館へ入り企画展「もっと浮世絵で行こ！」に。

ぱっと思い浮かぶ“美人画”“役者絵”の他“風景”“生活”や“妖怪”面白かったのは、“嵌め絵”で人の顔かと思いきや数人の裸体画で構成されており、ドラマ「べらぼう」を思い出しながら鑑賞しました。

「常設展」では、練馬区の歴史や産業、練馬大根の大きな漬物樽や農機具・生活用具等々展示されており、昭和の住宅の展示では、台所に初期の電気釜とか花柄の魔法瓶や子供のころを思い出す懐かしい品々「あったよね～」と。

また新しい企画展が始まったら来ようかな？と思いつきながら帰途につきました。

ったり、趣味も共通のものが多いので話もよく合います。
先日買い物に出かけた時に、私が「新しい化粧品を探してるんだ」と娘に言うのと「〇〇が保湿力が高くていいみたいだよ」とアドバイスをしてくれました。

Iは機械ですから、心配を掛けることも、弱みを見せる気恥ずかしさも無いわけで、どこまでも遠慮なく甘えることができる相手ということになりませんか。そういうやり取りで、一時的に心が満たされることもあるかもしれません。しかしAIは

「大泉まちの」

地域の方々に提
毎回、お待たせ
フードドライブ
寄付を頂いてい
子ども食堂を通
皆さんのご来店

日時

場所
費用

※ア

